

「第73回利根川水系連合・総合水防演習」取材のご案内

第73回利根川水系連合・総合水防演習を、令和7年5月17日（土）に栃木県宇都宮市道場宿地先（鬼怒川左岸7.8km付近）にて開催いたします。

本演習は、出水期を迎えるこの時期に地域を守る水防団（消防団）の士気の高揚、ならびに水防技術の向上、後継者の育成による技術継承はもとより、避難に関する取組により地域住民の防災意識を高めることで水防体制に万全を期すことを目的として開催されます。

利根川水系連合・総合水防演習は、昭和27年に初めて開催されて以降、「埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、茨城県」の5県で交代して毎年実施しています。

第一部「水防訓練」は、開催場所の地元で水防活動を行う宇都宮市消防団による水防工法の準備や洗掘、漏水及び越水などの堤防の被災に対応する水防工法の実動訓練を行います。また、地元宇都宮市の地域住民による避難に関する取組なども同時に行われます。

さらに、宇都宮市清原地区防災会、宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科、宇都宮市清原地区国際交流会等による「自衛水防訓練」、宇都宮市立清原中学校、株式会社アキモ等による「水防工法体験」により、水防活動の重要性についての理解を促していくとともに、Web会議による河川管理者と沿川自治体とのホットライン訓練を実施し、住民避難の重要性についても発信していきます。

第二部「救出・救護訓練」は、「鬼怒川の増水により宇都宮市内の鬼怒川堤防から越水が発生し、氾濫が始まった」という想定で実施されます。

訓練内容は、地元栃木県建設業協会宇都宮支部による救援ルート確保のための道路啓開に続き、国土交通省緊急災害対策派遣隊（通称TEC-FORCE）と独立行政法人水資源機構による排水ポンプ車を用いた氾濫水排除訓練や、ヘリコプターによる浸水被害箇所状況調査を行うとともに、ボートやヘリコプターによる孤立者救助訓練、さらに救出された被災者の応急手当などの訓練を行い、多岐に渡る防災機関の連携活動と技術を披露します。

つきましては、「第73回利根川水系連合・総合水防演習」を取材頂きますようご案内申し上げます。

<※お願い>

当日取材の際には、総合案内に設けております、報道関係者受付にてご記帳いただき、自社の「報道」腕章を着用していただきますよう、ご協力をお願いいたします。（報道関係者と判断できない場合に、念のため巡回の職員がお声がけさせて頂く場合がございます。）

第 73 回利根川水系連合・総合水防演習 報道受付位置図

会场上流側（一般来場者駐車場側）の「上流側資料配布所」付近において、報道受付を設置します。
当該箇所において、受付をお願いします。

